

平成30年度
留学生ホームステイ
思い出の文集

公益財団法人 新潟市国際交流協会

日 程 表

☆7月28日（土曜日）

場所：クロスパルにいがた

午後1時 対面式、諸連絡、記念撮影

午後1時30分 各ご家庭へ

☆7月29日（日曜日）

午後3時 各ご家庭にて解散

★15家庭 17人の留学生（8か国）で行いました。

「ホームステイを体験して」

前田雄治・智美

今回は我が家にとって初めてのホームステイ受け入れとなりました。受け入れをしたのは、小学2年生の息子が強く希望したことがきっかけでした。

どんな方が来てくれるのか、コミュニケーションはとれるのかなど、少し心配はありましたが、笑顔の素敵なベトナムの男の子が来てくれ、日本語も上手で、子ども達ともたくさん遊んでくれる優しい留学生に、その心配は一気になりました。

母国の話や家族の話、現在の学校の話、将来の夢など、一生懸命頑張っている彼が私たちは大好きになりました。

最後に、我が家に来てくれてありがとう!!とても楽しい時間でした。このホームステイを機に、これからも交流できたら嬉しく思います。

「びっくりしました」

前田こう大（小2）

ベトナム人の男の人がきました。ベトナムのことを聞いたらびっくりしました。

- ①しょくじのときは水をのまない。
- ②学校は日本の学校よりも時間がながい。
- ③ベトナムはあつい。
- ④おすしはたべたことがない。 などなどです。

1番びっくりしたことは、「ゆきがふらない」です。あとは「あつさはなれている」です。国で文化がちがうことがわかりました。わかってうれしいです。

またホームステイをしたいです。ベトナムはいい生活です。



今回、子ども達に異文化交流を体験させたいと思い受け入れを希望しました。

我が家に来てくれたのは、カンボジアの女の子でした。

対面式で初めて挨拶をした時、日本語が上手な事に驚きました。子ども達もすぐに懐き、傍を離れようとしませんでした。対面式が終わってから軽い昼食をとり、親戚の畑で野菜の収穫を一緒に手伝ってくれました。何にでも興味を示し楽しんでくれる姿が嬉しかったです。

帰宅後は少し遅めの夕食を済ませると、子ども達と携帯アプリで英語の歌を歌いながら遊んでくれました。その英語の歌がよほど気に入ったようで、今でも子どもが口ずさんでいます。就寝の時も彼女の布団に子どもが潜り込み、3人で川の字になって寝ていました。

翌日は、少し海で遊んだ後、ポップサーカスを見に行きました。彼女は人混みの中で子ども達がはぐれる事のないように気を使ってくれていました。

お別れの時には、彼女の姿が見えなくなると子ども達が泣き出してしまいました。それを見て、2日間とても良い時間を過ごせていたのだと感じました。

慌ただししい2日間で満足なもてなしもできませんでしたが、常に笑顔でいてくれた彼女のお陰で楽しく過ごす事ができました。

とても素敵な女性に出会えた事に感謝しています。



K. S

今回、初めて留学生の受け入れを経験しました。きっかけは我が家の子どもたちが英語を学んでいることでした。家にいながら異文化交流ができることに期待をして、ホストファミリーとして申し込みをしました。

我が家に来てくれたのは、スリランカ出身の学生さんでした。将来の夢をしっかりと持った、すてきな女性でした。二日間、一緒に話したり食事したり出掛けたり、たっぴりと楽しく過ごさせてもらいました。家族も、とても喜んでいました。日本語が上手だったので、日本語で会話をしました。その中で、言葉が通じず困ったとき、日本語を英語に翻訳し、その英語を彼女の母国語のシンハラ語に翻訳するという手段で相互理解をしました。共通言語である英語をコミュニケーションの橋渡しとして使用するという、日常にはない貴重な体験ができました。

ホストファミリーとなる前に、日本の文化がどんなものなのか、どんなことを伝えたいかと、家族でたくさん話し合いました。日本のすてきなところを探して、振り返って、伝えようと努力したことで、私たちも日本の良さを再確認することができました。とてもいい経験でした。周りの方々にも、ホストファミリーの楽しさを伝えていきたいと思っています。

最後に、楽しい二日間を共にしてくれた留学生の彼女に感謝するとともに、今後のご活躍を祈念しております。

「ホームステイの思い出」

遠藤 紫乃

ハバロフスクと香港からの2名の留学生と共に過ごした2日間は、2倍に興味深く、2倍速に時間が過ぎ、2倍の思い出が出来ました。ホストファミリー経験が初めてでありながら、濃厚な2日間を過ごすことができ、度胸もつきました。こんなに貴重な体験をさせてくれた留学生、新潟市国際交流協会の皆様の気持ちでいっぱいです。

初日こそ、初対面のゲストとホスト、また留学生同士もお互いをよく知らず、打ち解けるまでに時間を要しましたが、全員でお互いの情報を分かち合うことによって、2日目には全員が自然体で過ごせ、一緒に居ることが心地良くなってきていた、と感じたのは、ホストだけではなかったと思っています。

ゲスト2人からお土産をいただいたり、スーパーで夕食のすき焼きの食材や新潟ならではのロングセラーのお菓子（ハッピーターンやばかうけなど）を紹介したり。暑すぎてかき氷を食べに行ったり。お互いの地元をGoogle mapで検索したり。ホストの3歳と0歳の子どもをみてもらったり。ホストの家で放置されていたルービックキューブで、留学生同士レベルの高い競い合いをしてくれたり（出来上がったルービックキューブは、お土産で頂いたロシアのグジェーリ陶器とともに飾っています）。

東区在住のゲストに、ホストの住居のある西区寄りの観光スポット、弥彦神社やカーブドッチなどを楽しんでもらったり。ホストのおすすめのレストラン「かつー」で豚カツを堪能したり。帰り際、新潟の台所・本町市場へ寄って、ホストが通うディープな商店を紹介したり。

また、お互いのバックグラウンドや国の魅力、人気観光地について話したり、慣れた頃には、将来についてや、自身が親から受けた教育方針、育児休暇制度、投票率、死刑制度など、よりディープな話もし、刺激的で有意義な時間を過ごすことができました。

今回の初めてのホームステイ体験にて、家族全員で協力し、形にすることができたという点は、家族の絆をさらに深める一助となったとも思っています。

刺激的でいいこと尽くしの国際交流体験。是非またホストファミリーとして参加させていただきたく思っています。今回は素晴らしい時間を有難うございました。



「ホームステイを引き受けて」

前田 輝美

7月28・29日にベトナムのダムティ タイン マイさんが我が家に来ました。クロス
パル新潟での対面式の後、車のディーラーで開催していた夏祭りに寄り、かき氷やフラン
クフルトを食べてから、帰宅しました。

マイさんは22才。笑顔のステキな優しいしっかりしたお嬢さんです。日本語が上手で、
平仮名や漢字も読むことができ、とても助かりました。普段は午後に専門学校へ通い、
夕方6時から夜10時まで週6日間、運輸会社にアルバイトに行っているとのこと。自
転車で学校や職場に通っているそうなので、自転車で行かれないところへ連れて行き
たいと思って2日間の計画を立てました。

彼女の趣味が旅行なので、この日は月岡温泉に行きました。まず、月岡の公衆浴場「美
人の泉」で、彼女にとっては初体験の温泉に入りました。次に、ホテル華鳳へ行き、ロビ
ーで御抹茶を戴きました。ホテルのロビーから見える緑の美しい庭やホテルの様子は気
に入ってくれたようで、写真を撮り合い、お互いに携帯電話に送り合いました。最後
に、月岡わくわくファームでおみやげ店などを見て回りました。

帰宅してから、犬の散歩に付き合ったり、1才の孫のナナを抱っこしたり、娘との会
話も楽しんだりしました。夕飯は彼女の好きな料理がフォー（ベトナム料理の米粉麺）だ
というので、ラーメンにしたところ、喜んでもらえたようです。

2日目は弥彦山へドライブしました。途中で稲の緑が一面に広がる越後平野を見て「き
れい！」と喜んでくれました。弥彦神社には行けましたが、ロープウエーは強風のため運
行休止で山頂には行かれず、残念でした。神社の前の喫茶店で小休止をして、帰りは海
を見ながら日本海スカイラインを通過して、カーブドッチに寄りました。5時頃にアパ
ートに到着しました。

私には2人の娘がいますが、マイさんは我が家の3番目の娘のように可愛く思えました。
我が家に来てくれて、本当にありがとうございました。



「初めてのホームステイ受け入れ」

坂田 由枝

きっかけは、海外にホームステイをした事がある友達の話を聞いて、子供にとって、異文化を知れる良い機会だと思い申込みました。

事前に電話番号を聞いたので、LINEでコミュニケーションが取れ、日本語が上手でホッとしました。

我が家に来てくれたのはベトナムから来たドウちゃんです。娘ともすぐ意気投合です。大学生の時に1年間山梨に、今回は大学院で2年間の滞在との事で日本語がとても上手で驚きました。

行きたいところはありますかと聞いたら、「新潟駅周辺以外はほぼ出かけた事がないので、どこへでも連れて行ってもらえたらうれしいです」と聞き、いろんな所に連れて行ってあげたくなりました。

最初は護国神社に行きました。偶然にも拳式が行われていて、とても喜んで写真を沢山とっていたので、見ていた主人も私もここに来てよかったとうれしくなりました。それから北方博物館に行きました。夕食はちらし寿司、枝豆、揚げ出し豆腐、唐揚げを、ドウちゃんから揚げ春巻きを作ってもらい、沢山おしゃべりしながら楽しく過ごしました。

経営も日本語で学んでいるとの事で、夜は我が家の確定申告書を見ながら盛り上がりました。

翌朝は素麺を食べ、行ったことがないとの事でマリリンピアへ行きました。とても喜んでくれ、こちらもうれしくなります。それからふるさと村に行き、次に会う約束をして別れました。

もし、自分が彼女の年齢で同じ様に、親元を離れ外国で、日本語だけでなく、日本語で経営も学び、アルバイトをしたり、彼女の様に生きれたかと思うと尊敬するばかりでした。私も色々な事にチャレンジしていきたいなと勇気、パワーを沢山もらい、私の人生で、とても貴重な出逢いをいただき感謝致します。



「ホームステイの受け入れをして」

井上 麗奈

日常生活では触れることの出来ない異文化に触れるとても良い機会になりました。とても礼儀正しい子で家族・犬共に仲良く楽しい時間を過ごし、夏の良い思い出です。

今回はベトナム人留学生の方を迎え、実際私自身ベトナムに旅行に行きたいと考えていたところだったので、食べ物や観光地、写真もみせてもらいとても興味が湧き、更に良い場所だと分かりました。

また、留学生の普段の生活、アルバイト、お出掛けはどんなところへ行くのかなど本当に本人と関わらないと分からない、教科書には載っていない知識も増えました。なにより私と歳が近かったこともあり、色々な話を通じ、新しい友達が増えたことをとても嬉しく思います。このような機会に参加できとてもよかったです。ありがとうございました。

ベトナム：Bùi Thị Bảo Ngọc (フィ ティ バオ ゴック)

2018年7月28日と29日に初めて日本でのホームステイ体験しました。本当に貴重な経験だと思いました。行く前は、ホームステイの事よりホストファミリーと仲良くなれるのかどうか不安でした。でも、会ってみると最初は恥ずかしかったりしたけどすぐに打ち解けることができたのでよかったです。私のホストの直美さんは、話しかけてくれましたが、私が少ししか聞き取れなくて、会話が続きにくくなりましたが、彼女はいつも優しくて応援してくれました。彼女の娘が私と同年ですので、私を娘のように親しく感じて貰いました。日本人の親切は初めて感じることはないが、本当に感動いたしました。2日間で本当に大変お世話になりました。直美さんは色々な事を教えてくれました。彼女の料理の腕は上手ですので日本料理を教えてもらい、美味しい料理を作ってくれました。私もベトナムの料理を作りたいかったが、新潟でどこか材料を売っているのが知らなかったので、準備できなかった。本当に残念でした。時間があれば、ぜひ直美さんを訪問して作ってあげたいと思います。

直美さんはめっちゃ可愛い犬の福ちゃんを飼っています。福ちゃんと散歩した時、色々な日本に関する事を話しました。私の日本語能力はまだ低いですが、早く会話ができるようになりたいと思いました。次の日は、私が新潟の海を見たいと言いましたので、直美さんは海へ連れて行ってくれました。

たった2日間だけで短い時間ですが、本当に楽しかったし、大好きになりました。別れるのがほんとにさみしかったです。色々な所に連れて、色々な事を教えて頂きました。本当にありがたい気持ちで終わりました。帰る時は全然帰りたくなかった。もっともっと日本語を勉強して日本のお家にまた、絶対帰りたと思います。最高の思い出になりました。

だいすきーっ!!! 直美さん、直美さんの娘さん、福ちゃん、ありがとうございました。時間あれば、もっと直美さんの話を聞いたり、一緒に散歩したり、料理を作ったりしたいです。

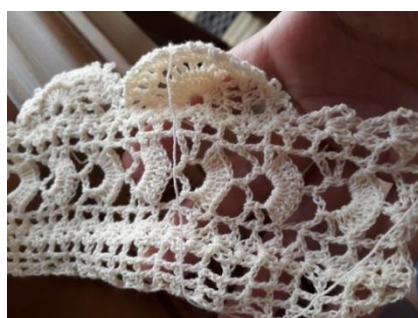
私を日本で歓迎頂いた。ありがとうございます。



直美さんとの最初の夕食です。直美さんの韓国語の友達と一緒に食べました。



初めて納豆にチャレンジしました。味はインドネシアの Tempeh の味と連想出来ます。納豆は食べにくいという事はよく言われた、今回食べられました、嬉しいでした。



直美さんは料理の腕が上手だけではなく、編むのも凄いです。本当に器用な人です。不器用な私はとても憧れました。



ベトナム：レー トゥ ハン

(訳文)

来日して10ヶ月が経ち、初めて日本人家庭でホームステイをしました。心の中に、良い思い出、良い印象が残りました。

ホストファミリーは夫婦と中学生と高校生の息子、それと可愛い猫が二匹いました(猫大好き!)。家族は2日間ずっと暖かい心で接してくれ、非常に感動しました。

家に行く途中、晩御飯の食材を買いました。メニューはお好み焼きと刺身、それとベトナムのあげ春巻きです。

あげ春巻きは、私と一緒にホームステイをした友人の二人で作りました。食材が足りず、他の材料を使ったため、出来上りが心配でしたが、息子たちは「おいしい!」と言ってくれ、ホッとしました。(よかった!)

食後はみんなで片付けをしました。ベトナムでは、女性が家事をしますが、日本はぜんぜん違うと思いました。皆の仕事がはっきり分けられており、私たちは洗い物、息子たちは食器拭きとテーブルの片付け、お父さんは皆にお茶を入れました。

お父さんの入れたお茶を飲みながら、折り紙、切り紙、猫の飼い方、将棋などを教えてもらい、ベトナムと日本の違いや本には書いてない珍しいことをいろいろ話しました。とても良い体験でいろいろなことが理解できました。

次の日は、朝食の手伝いをしました。メニューは、キャベツサラダ、味噌汁、卵焼き、納豆などです。11時ころ、海に行きました。行く前に、水、クリーム、フロートなどを用意しました。ベトナムの海では、砂浜に沿って、レストランやフロートの貸出しをする店などがいっぱい並んでいますが、新潟の海にはあまり無いからだったのです。

日本に来て初めての海だったので嬉しかったです。暑い夏は海で泳ぐのが最高です。暑い日なのに海の水はちょっと冷たく、ベトナムの海と違うと感じました。それから私は、日光浴で身体を温めました。

3時頃、ちょっと遅い昼食(回転寿司)をとり、別れの時間となり、送ってくれました。

私は二日目に息子たちと親しくなったのに、ホームステイが終わってしまいました。日本の家族の生活がもっとわかるように、ホームステイの期間はもっと長くなってほしいと思います。遠いところから来た留学生にとっては、日本の生活、文化を理解できるチャンスであるホームステイが、より多く、より大規模で行っていただきたいと望みます。

良い体験ができ、本当にありがとうございました。



(訳文)

二日間のホームステイが終わりました。短かったけど、日本の家庭の暖かさを十分に感じることができました。

ホストファミリーは、3歳と1歳くらいの子どものいる4人家族でした。子どもたちが懐いてくれるか、私の日本語が通じるか、最初は少し不安でした。クロスパルで対面して、家に着くまで、あまり話せず、なかなか打ち解けることができませんでしたが、一生懸命に声をかけてくれ、お互い香港と新潟について話しました。家族も初めてホストファミリーをするそうだったので。

途中でカキ氷を食べに行きました。有名な店だそうで、とても暑かったので、格別に美味しかったです。その後、スーパーへ買い物に行きました。日本の家庭が普段どんな食生活をしているか知りたいと思っていたので、メニューはお任せしました。

夕食は、おじいちゃん、おばあちゃんも加わって、更にはぎやかにになり、私もすぐに溶け込みました。いっぱい話したり、笑ったりしました。話の中で、やさしいおじいちゃんが何回も中国、しかも香港にも行ったことがあると知り、話題が途切れることなく、ずっと話込んでいました。子どもたちも懐いてくれ、私を兄と思い親しんでくれ、家族の一員になった感じがしました。

翌日は、弥彦神社に行き、写真をたくさん撮りました。参拝の仕方も教えてもらい、お守りも買ってもらいました。お守りは宝物としてずっと大事にします。歩いている時、子どもたちがずっと手を繋いでくれて、とても暖かくて、うれしかったです。お昼にとんかつを堪能したあと、葡萄園やパン屋に行きました。お土産にパンをいただきました。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。いざ別れるとなると、とても悲しい気持ちになりました。可能ならば、ずっとこのまま一緒にいたい、この暖かい家庭で暮らしたいと思いました。帰り際、またたくさんのお土産をもらいました。感動して泣きそうになりました。

最後に家族にお礼を言いたいです。

「二日間大変お世話になりました。この二日間は私にとって留学生活の中で一番の思い出です。夕食での楽しい会話、かわいい子どもたちと一緒に遊んだこと、お母さん、おばあちゃんと一緒にご飯を作ったことなどとても懐かしいです。今回はただの体験ではなく、特別すばらしい体験となりました。私を忘れないでください。再会できることを楽しみにしています。」



タイ：Tantineerant Thanaporn (タンティニーラナット タナポーン)

私は留学生として日本に住んでいる内にしたことがないことを経験しようと思っていました。それで、今回のホームステイに参加しました。初めて少し緊張して、ホストファミリーに失敗ことをしたらって心配しました。でも、お母さんはとても優しく、さまざまな日本のことを教えてくれました。二人の娘さんとは大好きなディズニーの話をして、とても楽しかった。

お家に着いたとき、お父さんに会いました。お父さんは、私の国に行ったことがあると言われてとてもうれしかったです。日本とタイの文化や生活の違いなどを話すのが面白かったです。家にはメルちゃんという猫が一匹いました。メルちゃんは、可愛いけど、ずっと寝ていたのであまり遊ばませんでした。

その晩は、皆で「たこやき」という料理を作って食べました。私の作ったものは形があまりきれいじゃないけど、話をしながら、ご飯を食べるのが楽しかったです。それに、日本人はぶどうの皮をむいて食べ、桃は皮のまま食べる人もいて驚きました。自分の国と違います。それは「カルチャーショック」ということですね。

夜は、近くの公園に盆踊りを見に行きました。浴衣を着ている子どもがいっぱいで、皆さんが踊りをやって楽しくなりました。お祭りとか、浴衣とか見ると夏らしいと思いました。

次の日は、新潟県内の田舎のようなところへ行きました。川で遊び、温泉にも入ってきました。始めはちょっと恥ずかしかったけど、皆さんと同じだと考えたら、大丈夫になりました。温泉は体にも肌にもいいです。今年の夏休みはとてもいい経験になりました。今度機会があったらまた参加したいです。



ベトナム：Nguyen Thi Duoc

私がこのプログラムに参加したのは、本学の先生方が案内してくれたのがきっかけで、学内サイトを見て、こんな体験をしたいと思って応募しました。今回のホームステイで本当に貴重な経験をする事ができました。行く前は、ホームステイの事より日本人と仲良くなれるのかどうか不安でした。会った時は、最初は恥ずかしかったり、うまくやっていけるのかという気持ちになったりしましたが、ホストファミリーの皆さんに温かく迎えてもらって、そのような気持ちがすぐに打ち解ける事ができたのでよかったです。

皆さんはベトナムにとっても友好的で、日本語が上手ではない私に何度もゆっくり話してくれたり、過ごしやすいように気を使ってくれました。

クロスパル新潟で打ち合わせた後、色々なところを連れて行ってくれたママ、パパとココちゃんに心から感謝しています。

護国神社、北方文化博物館、新潟市水族館マリニピア日本海！どこも素晴らしかったです。

その上に私はお寿司が大好きだとわかってくれて、美味しいお店に連れて行ってくれました。日本料理やベトナム料理の話をしました。何よりも幸せでした。

一泊二日過ごしました。別れの時には「また、今度ね」とママに言われて、また会えると嬉しいです。



護国神社



北方文化博物館



新潟市水族館マリニピア日本海

ホストファミリーへのメッセージです。

(訳文)

パパ、ママ、ココちゃん、この間ありがとうございました。皆は私を家族の一員として、いろいろな所に遊びに連れて行ってきて、たくさんのおいしい料理を作ってくださいまして、感謝申し上げます。皆に出会って、私は幸せです。私のことも忘れないでね。ラブオール！

ベトナム：ルオン バン バオ

2016年4月、日本に参りました。日本に来て、困ったこともたくさんあっていました。言葉の壁、制度の壁、心理の壁などと思います。言葉の壁や制度の壁は、自分の動力次第でいくらでも越えられると私は思っていますが、心理の壁は日本人と外国人の動力が必要だと思っています。

日本人の心理、とりわけ文化、考え方、生活など、深くわかるために、できるだけ日本人との交流イベントにたくさん参加していきたいという気持ちずっと持っています。今年の7月、新潟で行われたホームステイイベントに応募しました。数十人の中から私は選ばれました。ほんとにうれしかった。私のホストファミリーは4人家族で、夫婦と4歳と小学2年生の男の子がいます。

ホームステイの日が近づいて、自分の中で、いろんな気持ちを持っていました。憂いしい気持ちもあるし、緊張の気持ち、少し不安感もありました。うれしいのは日本人と一緒に生活することができます。日本の文化に接することができます。緊張の気持ち、不安感あったのは言葉の壁、文化の壁が越えられるかどうか、日本人とベトナムの異文化を読み取ることができるかどうか、お互いの異文化を理解することができるかどうか、不安でした。

7月28日ホームステイの日、クロスパルにいがたで日本人の家庭と外国人が全員集合しました。集合後、私たちは最初にふるさと村に遊びに行きました。そこで、新潟について貼ってある写真をたくさん説明してくれました。日本に来て、ずっと新潟に住んでいましたが、新潟の歴史形成が知りませんでした。そこに行って、たくさん学ぶことができました。

夕方5時ごろ、家に行き、みんな一緒に買い物しに行って、料理を作って、一緒に晩御飯を食べました。日本とベトナムの文化など、たくさん話しました。日本に来て、日本の不思議だと思ったことは全部話して、説明してくれました。例えば、誰かが手伝ってくれたら、「ありがとうございます」の代わりに「すみません」と言います。なぜありがとうと言わないか、理解することができました。

食事中に、私のこともたくさん話しました。今年の9月に私は日本語スピーチコンテストに参加することができますと家族に話すと、すぐペンを取って、カレンダーに「バオスピーチ」って書いて、「皆で応援しにいきますよ」と言ってくれました。ほんとにうれしくて、感動しました。

ベトナムにいた時、食事中は家族みんながよく喋っていましたが、日本に来て、一人暮らし、食事はいつも一人で食べています。2年間日本に住んでいて、久しぶりに一緒に料理を作ったり、食事中に喋ったりしました。家族だと思いました。食事後、皆と花火をしました。ほんとに楽しかった。

翌日29日は、朝5時半に起きて、皆一緒に朝活動をしたり、海に行って、太陽（朝日）を見ました。私は情報系が好きと言いましたので、朝ごはん後、県立自然科学館に遊びに行きました。そこで、日本の素晴らしところを見えました。いろんな発明を展開されたり、素晴らしかったです。

午後4時ごろ、ホームステイが終わる時間になって、小2の息子から、学校の課題で、自分が育てたというトマトをもらいました。今でも冷蔵庫の中で保存しています。帰るときちょっと悲しかったけど、今回のホームステイきっという思い出になります。

1泊2日、長くはないですけど、日本をたくさん理解することができ、日本の文化、習慣を学ぶことができました。そのきっかけを与えてくれた経験になりました。ほんとにホームステイ参加することができて、よかったです。ありがとうございました。

これからも、もっともっと多く日本のいろいろなところにでかけていき、色々な面で、自分を成長させていきたいと思います。



ベトナム：ホアン ティ ハン レイ

初めてだった今回のホームステイに参加しました。2日間という短い期間でしたが、たくさん経験ができました。最初はホストファミリーがどんな人かの不安と楽しみでいっぱいでした。しかし、そんな不安はすぐなくなり、楽しい時間を過ごすことができました。

ホストファミリーはすごく優しく迎えてくれました。ホストファミリーは無口ですけど、とても親切です。話し合ったとき、聞き取れず何度も説明してくれました。

1日目にあげ春巻きやお好み焼きの夕飯を作ったり、食べたり、とても楽しかったし、いい体験ができたと思います。刺身や納豆も食べました。思ったよりおいしかったです。

それから、手作りのものを見せてもらったり、一緒に折り紙をしたりして、だんだんと仲良くなることができました。私が一番印象に残っているのは、海に連れて行ってもらったことです。海に飛び込みたいほどの7月の暑さですから。

そして、ホストファミリーの飼っている2匹の猫ちゃんもすごく可愛いです。2匹も飼っているのに、部屋にペットの匂いが全然なくて、びっくりしました。

最後、別れたとき、言いたいことがあるのにうまく伝えられませんでした。またいつかホストファミリーに会えますように。

見たことのない、経験したことのない、全部が新鮮だったこのプログラムに参加できて本当によかったと思います。





対面式での集合写真（平成 30 年 7 月 28 日）